

本資料は、投資家/ビジネスパートナーの皆様からのご要望に応えるため、アストラゼネカ英国本社（AstraZeneca PLC）が2024年11月12日に発表した、[2024年9カ月通期および第3四半期業績発表](#)の一部を日本語に翻訳し、参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。本リリースには、本邦未承認および国内と異なる適応の情報を複数含みます。

AstraZeneca

2024年11月12日

2024年9カ月通期および第3四半期業績

～堅調な成長に基づき 2024 年通年ガイダンスを上方修正～

収益および EPS の概要

	2024 年 9 カ月通期	増減 (%)		2024 年 第 3 四半期	増減 (%)	
	100 万ドル	実績	CER ¹	100 万ドル	実績	CER
-製品売上	37,576	16	19	12,947	18	20
-アライアンス収益	1,498	49	50	559	48	50
-協業収益	108	(66)	(66)	59	(39)	(40)
売上収益	39,182	16	19	13,565	18	21
報告ベース EPS	\$3.57	11	21	\$0.92	4	17
コア ² EPS	\$6.12	5	11	\$2.08	20	27

2024 年 9 カ月通期財務業績

（伸び率は恒常為替レートベース）

- 製品売上が 19%増加し、提携医薬品によるアライアンス収益が引き続き増加したことにより、売上収益は 19%増の 391 億 8,200 万ドルを達成
- オンコロジー領域の売上収益は 22%増、循環器・腎・代謝疾患領域（CVRM）は 21%増、呼吸器・免疫疾患領域（R&I）は 24%増、希少疾患領域は 14%増
- コア製品売上総利益率³は 82%
- コア営業利益率は 32%
- コア税率は 20%
- コア EPS は 11%増の 6.12 ドル。なお、前年同期のコア EPS は、*Pulmicort Flexhaler* の米国における権利売却およびバイフォータスの契約条件更新による利益計 9 億 5,300 万ドルを反映
- 2024 年通年ガイダンスを引き上げ、売上収益およびコア EPS は CER ベースで 10%台後半の増加見込み

最高経営責任者（CEO）パスカル・ソリオのコメント

「当社は、2024 年 9 カ月通期においても引き続き堅調な成長軌道を進んでいます。第 3 四半期の売上収益は 21%増加、コア EPS は 27%増加しました。これは、オンコロジー、バイオ医薬品、および希少

疾患領域における当社製品に対する需要増加を反映しており、2024 年通年のガイダンスを引き上げる根拠となっています。

当社は、年初から本日に至るまで、肯定的で良好な試験結果を複数発表してまいりました。そして現在、これらの新しい治療選択肢を患者さんへ迅速に提供できるように取り組んでいます。さらに、当社の科学研究の質と影響力は、当四半期において高く評価され、9 月に開催されたオンコロジー領域の 2 つの主要な学会で、当社の医薬品に関するデータが、前例のない 5 つのプレジデンシャル・プレナリー・セッションで取り上げられました。

2024 年の当社の広範で堅調な成長の機運は、大きな自信となりました。2025 年にむけて成長は継続していき、当社の 2030 年目標の達成のため、確実な土台を構築していきます。

最後に、当社は中国での事案について深刻に受け止めています。要請があれば、当社は当局に全面的に協力する所存です。当社は今後も、中国の患者さんに人生を変える革新的な医薬品を届けられるよう尽力してまいります」。

前回の業績発表以降の主なマイルストーン

- 高レベルの MET 過剰発現および／または増幅を有する *EGFR*m NSCLC におけるタグリツソと *Orpathys* の併用療法（SAVANNAH）、オビヌズマブの投与の有無にかかわらず、未治療の CLL におけるカルケンスとベネトクラスの併用療法（AMPLIFY）、ならびにビレーズトリの次世代型噴射剤の良好な臨床試験結果。NF1-PN の成人患者におけるコセルゴ（KOMET）、鼻茸を伴う重症慢性副鼻腔炎におけるテゼスパイア（WAYPOINT）
- 切除不能なステージ III の *EGFR*m NSCLC におけるタグリツソ（LAURA）、切除可能な早期 NSCLC におけるイミフィンジと化学療法の併用（AEGEAN）、およびフルミスト自己投与の、米国での承認。ミスマッチ修復機能欠損を有する子宮体がんにおけるイミフィンジと化学療法の併用とその後のイミフィンジ単剤療法（DUO-E）、ミスマッチ修復機能が正常な子宮体がんにおけるイミフィンジと化学療法の併用とその後のリムパーザとイミフィンジの併用療法（DUO-E）、および EGPA におけるファセンラ（MANDARA）の、欧州での承認。切除不能な局所進行または転移性の *HER2* 変異 NSCLC におけるエンハーツ（DESTINY-Lung02、DESTINY-Lung05）、局所進行または転移性の *HER2* 陽性胃腺がんまたは胃食道接合部腺がんにおけるエンハーツ（DESTINY-Gastric06）、および重症好酸球性喘息におけるファセンラ（MIRACLE）の、中国における承認

ガイダンス

製品売上およびアライアンス収益の堅調な成長、ならびに特定の売上マイルストーン達成に対する一層の自信を考慮し、CER ベースでの、2024 年通年の売上収益およびコア EPS に関するガイダンスを引き上げます。

売上収益は、10%台後半の増加を見込む
(前回 10%台半ば)

コア EPS は、10%台後半の増加を見込む
(前回 10%台半ば)

-
- 損益計算書のその他の項目は、当社の 2024 年上半期損益計算書で報告した内容とおおむね一致となる見込みです。

当社は、買収関連負債から生じる公正価値調整、無形資産減損費用、訴訟和解引当金等、報告ベースの業績の重要な要素を確実に予測することはできないため、報告ベースのガイダンスを提供することはできません。本発表の最後にある将来予測に関する注意事項をご参照ください。

為替の影響

仮に 2024 年 10 月から 2024 年 12 月までの為替レートが 2024 年 9 月の平均レートで推移した場合、2024 年通年の売上収益は、CER ベースの業績と比較して 1 桁台前半のマイナス影響（前回のガイダンスから変更なし）、コア EPS は 1 桁台半ばのマイナス影響（前回のガイダンスから変更なし）を受けると予想されます。為替レートに関する当社の感度分析を Table 17 に示します。

中国

既報の通り、当社の現職および元社員に対して中国当局による個別の捜査が複数行われていることを当社は把握しています。当社が知る限り、捜査項目には医療保険詐欺、医薬品の違法輸入、および個人情報漏洩の疑いが含まれています。最近では、インターナショナル担当 EVP 兼アストラゼネカ中国法人社長の Leon Wang の身柄が拘束されました。当社が捜査対象であるといういかなる通知も当社は受けていません。要請があれば、当社は中国当局に対して全面的に協力する所存です。

Table 1 : 2024 年第 3 四半期売上収益のパフォーマンスの主要要素

収益項目	増減 (%)			
	100 万ドル	実績	CER	
製品売上	12,947	18	20	
アライアンス収益	559	48	50	* ベイフォータスは 4,900 万ドル (2023 年第 3 四半期 : 1,700 万ドル) * エンハーツは 3 億 6,100 万ドル (2023 年第 3 四半期 : 2 億 6,600 万ドル) * テゼスパイアは 1 億 2,300 万ドル (2023 年第 3 四半期 : 7,400 万ドル)
協業収益	59	(39)	(40)	* ベイフォータスは 5,600 万ドル (2023 年第 3 四半期 : 7,100 万ドル)
売上収益	13,565	18	21	

治療領域	100 万ドル	実績	CER	
オンコロジー	5,569	19	22	* タグリッソの売上収益は 14% (CER ベースで 17%) 増、カルケンスは 24% (CER ベースで 25%) 増、エンハーツは 50% (CER ベースで 55%) 増
CVRM	3,159	18	20	* フォシーガの売上は 25% (CER ベースで 27%) 増、ロケルマは 40% (CER ベースで 42%) 増
R&I	1,959	26	29	* ビレーズトリの売上は 56% (CER ベースで 57%) 増。サフネローは 63% (CER ベースで 64%) 増、テゼスパイアは 2 倍超増、シムピコートは 27% (CER ベースで 31%) 増
V&I	460	48	49	* ベイフォータスの売上収益は 73% (CER ベースで 72%) 増、フルミストは 34% (CER ベースで 31%) 増
希少疾患	2,148	9	11	• ソリリスの 22% (CER ベースで 18%) 減により一部相殺されるものの、ユルトミスの売上は 33% (CER ベースで 35%) 増、ストレンジックは 20% (CER ベースで 21%) 増、コセルゴは 37% (CER ベースで 39%) 増
その他医薬品	270	(12)	(8)	
売上収益	13,565	18	21	

地域別売上	100 万ドル	実績	CER	
米国	6,008	23	23	
新興国市場	3,423	15	23	
-中国	1,671	15	15	
-中国以外の新興国市場	1,752	16	31	
欧州	2,875	22	22	
その他既成市場	1,260	(1)	4	
売上収益	13,565	18	21	

主要なアライアンス医薬品

- 第一三共株式会社（第一三共）とアストラゼネカが計上したエンハーツの総売上高は、2024 年 9 カ月通期に 27 億 2,900 万ドル（2023 年 9 カ月通期 : 18 億 4,400 万ドル）
- アムジェンとアストラゼネカが計上したテゼスパイアの総売上高は、2024 年 9 カ月通期に 8 億 4,300 万ドル（2023 年 9 カ月通期 : 4 億 3,800 万ドル）

Table 2 : 2024 年第 3 四半期の財務パフォーマンスの主要要素

項目	報告ベース	報告ベース 増減	コア	コア増減	コメント ⁴
売上収益	135 億 6,500 万ドル	実績 18% CER 21%	135 億 6,500 万ドル	実績 18% CER 21%	* 詳細は、本書の Table 1 および売上収益の項を参照
製品売上 総利益率	76%	実績 -5pp CER -4pp	81%	実績 安定的 CER 安定的	* 製品の季節性（例：フルミストおよびベイ フォータスの売上は下半期に偏在）、為替 変動、およびその他の影響により、期間による 製品売上総利益率の変動が予想される – 報告ベースの製品売上総利益率は、当四 半期に生じた PAAGR ⁵ による在庫関連の構 造改革費用の影響を受けている
研究開発費	31 億 1,500 万ドル	実績 21% CER 21%	30 億 6,800 万ドル	実績 23% CER 24%	+ パイプラインへの投資拡大 * コア研究開発費の対売上収益比は 23% (2023 年第 3 四半期：22%)
販売費・ 一般管理費 (SG&A)	51 億 4,300 万ドル	実績 7% CER 8%	36 億 500 万 ドル	実績 8% CER 9%	+ 最近発売された製品および発売前製品の 市場開発活動 * コア販売費・一般管理費 対 売上収益比 率は 27% (2023 年第 3 四半期：29%)
その他営業収入 (および費用) ⁶	2,500 万ドル	実績 -65% CER -61%	2,400 万ドル	実績 -65% CER -61%	
営業利益率	16%	実績 -1pp CER 安定的	32%	実績 +1pp CER +2pp	* 粗利益率、研究開発費、販売費・一般管 理費およびその他営業収入（および費用） に関する上記のコメントを参照
純金融費用	2 億 7,400 万ドル	実績 -6% CER -15%	3 億 2,900 万ドル	実績 46% CER 35%	+ より高い金利での新規債務の発生 + 純負債の増加
税率	22%	実績 +5pp CER +5pp	19%	実績 安定的 CER 安定的	* 期間による税率の変動が予想される
EPS	\$0.92	実績 4% CER 17%	\$2.08	実績 20% CER 27%	* 報告ベースとコアとの差異の詳細は Table 12 に示す

Table 3 : 前回の決算発表以降のパイプラインのハイライト

イベント	医薬品	適応症／治験	イベント
薬事承認およびその他の薬事案件	タグリッソ	切除不能なステージ III の EGFRm NSCLC (LAURA)	薬事承認 (米国)
	イミフィンジ	ミスマッチ修復機能欠損を有する原発性進行または再発子宮体がん (DUO-E)	薬事承認 (欧州)
	イミフィンジ+リムパーザ	ミスマッチ修復機能正常の原発性進行または再発子宮体がん (DUO-E)	薬事承認 (欧州)
	イミフィンジ	切除可能な早期 (ステージ IIA～IIIB) NSCLC (AEGEAN)	薬事承認 (米国)
	エンハーツ	局所進行または転移性の HER2 陽性胃腺がんまたは胃食道接合部腺がん (DESTINY-Gastric06)	薬事承認 (中国)
	エンハーツ	切除不能な局所進行または転移性の HER2m NSCLC (DESTINY-Lung02, DESTINY-Lung05)	薬事承認 (中国)
	ファセンラ	EGPA (MANDARA)	薬事承認 (米国、欧州)
	ファセンラ	ファセンラ (MIRACLE)	薬事承認 (中国)
	フルミスト	自己投与	薬事承認 (米国)
薬事承認申請または受理*	タグリッソ	EGFRm NSCLC (ステージ III、切除不能) (LAURA)	薬事承認申請 (欧州、日本、中国)
	イミフィンジ	筋層浸潤性膀胱がん (NIAGARA)	薬事承認申請 (欧州)
	イミフィンジ	NSCLC (術前補助療法) (AEGEAN)	薬事承認申請 (日本)
	イミフィンジ	SCLC (限局型) (ADRIATIC)	薬事承認申請 (米国、欧州、日本、中国)
	カルケンス	マンツル細胞リンパ腫 (1 次治療) (ECHO)	薬事承認申請 (米国、欧州、日本)
	カルケンス	CLL (ELEVATE-TN)	薬事承認申請 (中国)
	リムパーザ	mCRPC (PROpel)	薬事承認申請 (中国)
	エンハーツ	HER2 低発現乳がん (2 次治療) (DESTINY-Breast06)	薬事承認申請 (米国、欧州、日本)
	Wainua	トランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチー (NEURO-TTransform)	薬事承認申請 (中国)
	ビレーズトリおよび HFO1234ze	中等症または重症 COPD	薬事承認申請 (欧州)
	シバビバルト	COVID-19 の予防 (SUPERNOVA)	薬事承認申請 (日本)
	ユルトミリス	NMOSD (CHAMPION-NMOSD)	薬事承認申請 (中国)
第 III 相／登録データ臨床試験結果およびその他の展開	タグリッソ + Orpathys	高レベルの MET 過剰発現および／または増幅を有する EGFRm NSCLC (SAVANNAH)	臨床的に意味のある ORR
	カルケンスの固定期間投与	慢性リンパ性白血病 (AMPLIFY)	主要評価項目達成
	ファセンラ	鼻茸を伴う好酸球性慢性副鼻腔炎 (ORCHID)	主要評価項目未達成
	テゼスパイア	鼻茸を伴う重症慢性副鼻腔炎 (WAYPOINT)	主要評価項目達成
	コセルゴ	NF1-PN の成人患者 (KOMET)	主要評価項目達成

*米国、欧州および中国の薬事承認申請は申請受理を意味します。

今後のパイプライン進展

最近の臨床試験開始および主要な臨床試験結果の予想時期については、臨床試験付録 (Clinical Trials Appendix) (www.astrazeneca.com/investor-relations.html) をご覧ください。

コーポレートおよび事業開発

2024 年 10 月、アストラゼネカは、石薬集团有限公司（CSPC）との独占ライセンス契約を締結し、脂質異常症を持つ患者さんにさらなる利益をもたらす可能性のある、初期段階の新規低分子リポ蛋白(a)（Lp(a)）阻害剤の開発を推進します。このライセンス契約により、当社の心血管系ポートフォリオがさらに強化され、慢性心血管疾患を引き起こす主要なリスク因子への対処が可能となります。本契約の条件において、アストラゼネカは、CSPC の前臨床候補低分子であり、経口投与可能な Lp(a)阻害剤である YS2302018 を用いて、単剤またはアストラゼネカの経口低分子 PCSK9 阻害剤である AZD0780 との併用を含む、様々な心血管疾患の適応の可能性がある、新たな脂質低下療法として開発することを目指します。CSPC はアストラゼネカから 1 億ドルの前払い金を受け取ります。また、CSPC は、さらなる開発および製品化の目標達成と段階的ロイヤリティとして最大 19 億 2,000 万ドルを受け取ることができます。

2024 年 10 月、アストラゼネカは、ウィルソン病治療薬候補の ALXN1840（ビスコリン・テトラオモリブデン酸）について Monopar Therapeutics Inc.（Monopar 社）へのライセンス導出の契約を締結しました。Monopar 社は、今後のグローバル開発と製品化活動のすべてに対して責任を負います。アストラゼネカは、ライセンス発行時に Monopar 社に対して 9.9%の受益所有権を取得するとともに、前払い金として現金 400 万ドルを受け取ります。また、アストラゼネカは、マイルストーンとロイヤリティを受け取ることができます。

サステナビリティのハイライト

アストラゼネカは、9 月にニューヨークで開催された Climate Week NYC および第 79 回国連総会に Pam Cheng（グローバルオペレーションズおよび IT 担当エグゼクティブバイスプレジデント兼チーフ・サステナビリティ・オフィサー）と当社の米国経営陣が率いる代表団が出席し、大きな存在感を示しました。政府、報道機関、NGO、および民間部門から 50 を超える参加があったプログラムでは、気候危機、医療の公平性、および保健医療システムの強靱性の相互に関連する問題、ならびにより持続可能で強靱かつ公平な保健医療システムへの貢献という当社のコミットメントに焦点を当てました。

営業および財務の概況

本セクションの成長および業績に関する説明はすべて実際の為替レートに基づいており、財務数値は特に断りのない限り、100 万米ドル（\$m）単位で記載されています。別段の記載がない限り、本発表で示された業績は、2024 年 9 月 30 日までの 9 カ月間（「当期」または「2024 年 9 カ月通期」）を対象とし、2023 年 9 月 30 日までの 9 カ月間（「2023 年 9 カ月通期」）と比較、あるいは、2024 年 9 月 30 日までの 3 カ月間（「当四半期」または「2024 年第 3 四半期」）を 2023 年 9 月 30 日までの 3 カ月間（「2023 年第 3 四半期」）と比較しています。

コア財務指標である EBITDA、純負債、製品売上総利益率、営業利益率および CER は、当社グループの要約連結財務諸表から直接算出できないため、非 GAAP 財務指標となります。経営陣は、これらの非 GAAP 財務指標は、報告ベースの業績と合わせて提供することにより、投資家やアナリストに、当社グループの財務業績や状況を時系列で比較しながらより深くご理解いただくための有益な補足情報を提供

するものと考えています。これらの非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して作成された財務指標に代わるものでも、優先されるものでもありません。

コア財務指標は、以下のような特定の重要な項目を除外するよう調整されています。

- 資産化された製造資産および IT 資産に関するグローバルでの組織改編に関連する費用および引当金
- 無形資産の償却および減損（減損の戻し入れを含むが、IT 資産に関連する費用を除く）
- その他の特定項目（主に企業結合の偶発対価に関連する帰属金融費用および公正価値変動、無形資産取得によって生じた特定のその他の支払債務に関する帰属金融費用および再測定調整、法的和解、ならびにアレクシオン社買収によって生じた特定のその他の支払債務および負債項目に関連する再測定調整）
- 上記の調整による税効果は、コア税金費用から除外

コア財務指標の性質に関する詳細は、アニュアルレポートおよび Form 20-F Information 2023 の 61 ページに記載されています。

本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの財務指標とコア財務指標の調整表を参照してください。

製品売上総利益率は、製品売上と売上原価との差額を製品売上で除して計算されます。報告ベースの製品売上総利益率およびコア製品売上総利益率の計算では、アライアンス収益、協業収益および関連費用の影響は除外されており、それにより製品売上の基本的な業績が反映されています。

EBITDA は、報告ベースの税引前利益に合併会社および関連会社から生じた純金融費用ならびに減価償却費、無形資産償却費および減損費用を加算した値と定義されています。本発表の財務業績の項に記載されている報告ベースの税引前利益と EBITDA の調整表を参照してください。

営業利益率は、売上収益に対する営業利益の割合と定義されています。

純負債は、現金および現金同等物、その他の投資、ならびに金融派生商品の純額を差し引いた有利子負債およびリース負債と定義されています。本発表の中間財務諸表の注記 3「純負債」をご参照ください。

当社は、投資家およびアナリストの皆様が単一の財務指標に依存することなく、アストラゼネカの財務諸表（その注記を含む）およびその他の利用可能な当社報告書を注意深く全体的に検討されることを強くお勧めします。

四捨五入の関係で、本発表におけるいくつかのドル数値およびパーセンテージの合計は一致しない場合があります。

売上収益

Table 4 : 治療領域および医薬品別売上収益 ⁷

	2024 年 9 カ月通期				2024 年第 3 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実績	CER			実績	CER
オンコロジー	16,009	41	19	22	5,569	41	19	22
- タグリッソ	4,877	12	11	15	1,674	12	14	17
- イミフィンジ	3,463	9	18	22	1,203	9	13	16
- カルケンス	2,321	6	26	27	813	6	24	25
- リムパーザ	2,228	6	8	10	778	6	11	13
- エンハーツ	1,442	4	57	60	510	4	50	55
- ゴラデックス	845	2	17	24	278	2	12	18
- イジウド	208	1	30	32	72	1	20	22
- トルカブ	267	1	n/m	n/m	125	1	n/m	n/m
- Orpathys	36	-	5	8	11	-	(11)	(11)
- その他のオンコロジー製品	322	1	(18)	(12)	106	1	(10)	(5)
バイオ医薬品 : CVRM	9,379	24	18	21	3,159	23	18	20
- フォシーガ	5,779	15	32	34	1,943	14	25	27
- ブリリント	992	3	-	1	327	2	(1)	(1)
- クレストール	894	2	4	9	304	2	10	14
- ロケルマ	392	1	31	34	143	1	40	42
- セロケン/Toprol-XL	466	1	(6)	(1)	151	1	(2)	1
- ロキサデュスタット	261	1	23	26	95	1	26	25
- オンデキサ	159	-	24	26	54	-	36	38
- Wainua	44	-	n/m	n/m	23	-	n/m	n/m
- その他の CVRM 製品	392	1	(27)	(26)	120	1	(22)	(20)
バイオ医薬品 : R&I	5,750	15	22	24	1,959	14	26	29
- シムピコート	2,195	6	19	22	705	5	27	31
- ファセンラ	1,218	3	7	8	436	3	12	13
- ビレーズトリ	721	2	51	53	266	2	56	57
- パルミコート	517	1	5	9	138	1	(6)	(4)
- テゼスバイア	471	1	>2x	>2x	191	1	>2x	>2x
- サフネロー	327	1	71	72	124	1	63	64
- Airsupra	41	-	n/m	n/m	21	-	n/m	n/m
- その他の R&I 製品	259	1	(28)	(27)	78	1	(32)	(32)
バイオ医薬品 : V&I	811	2	(14)	(12)	460	3	48	49
- ベイフォータス	319	1	>2x	>2x	238	2	73	72
- シナジス	346	1	(10)	(4)	93	1	(6)	3
- COVID-19 mAbs	31	-	(90)	(90)	28	-	>10x	>10x
- フルミスト	109	-	24	21	100	1	34	31
- その他の V&I 製品	6	-	(79)	(80)	0	-	(63)	n/m
希少疾患	6,391	16	10	14	2,148	16	9	11
- ユルトミス	2,835	7	32	35	1,031	8	33	35
- ソリス	2,045	5	(16)	(11)	606	4	(22)	(18)
- ストレンジック	996	3	18	19	343	3	20	21
- コセルゴ	366	1	49	55	119	1	37	39
- カヌマ	149	-	15	16	49	-	10	9
その他医薬品	843	2	(10)	(4)	270	2	(12)	(8)
- ネキシウム	685	2	(8)	(2)	216	2	(13)	(8)
- その他	157	-	(17)	(15)	54	-	(7)	(7)
医薬品合計	39,182	100	16	19	13,565	100	18	21

Table 5 : アライアンス収益

	2024 年 9 カ月通期			2024 年第 3 四半期		
	増減 (%)			増減 (%)		
	100 万 ドル	実績	CER	100 万 ドル	実績	CER
エンハーツ	1,045	41	42	361	36	38
テゼスパイア	303	69	69	123	65	65
ベyfオータス	75	>4x	>4x	49	>2x	>2x
その他のアライアンス収益	75	11	11	26	29	29
合計	1,498	49	50	559	48	50

Table 6 : 協業収益

	2024 年 9 カ月通期			2024 年第 3 四半期		
	増減 (%)			増減 (%)		
	100 万 ドル	実績	CER	100 万 ドル	実績	CER
フォシーガ：販売マイルストーン	52	87	87	3	12	14
ベyfオータス：販売マイルストーン	56	(21)	(23)	56	(21)	(23)
合計	108	(66)	(66)	59	(39)	(40)

Table 7 : 治療領域別売上収益

	2024 年 9 カ月通期				2024 年第 3 四半期			
	増減 (%)				増減 (%)			
	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER
オンコロジー	16,009	41	19	22	5,569	41	19	22
バイオ医薬品	15,940	41	17	20	5,578	41	23	25
CVRM	9,379	24	18	21	3,159	23	18	20
R&I	5,750	15	22	24	1,959	14	26	29
V&I	811	2	(14)	(12)	460	3	48	49
希少疾患	6,391	16	10	14	2,148	16	9	11
その他医薬品	843	2	(10)	(4)	270	2	(12)	(8)
合計	39,182	100	16	19	13,565	100	18	21

Table 8 : 地域別売上収益

	2024 年 9 カ月通期				2024 年第 3 四半期			
	増減 (%)				増減 (%)			
	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER
米国	16,703	43	20	20	6,008	44	23	23
新興国市場	10,541	27	14	23	3,423	25	15	23
中国	5,049	13	12	15	1,671	12	15	15
中国以外の新興国市場	5,492	14	16	30	1,752	13	16	31
欧州	8,240	21	22	22	2,875	21	22	22
その他既成市場	3,698	9	(4)	4	1,260	9	(1)	4
合計	39,182	100	16	19	13,565	100	18	21

財務実績

Table 9 : 報告損益

	2024 年 9 カ月通期	2023 年 9 カ月通期	増減 (%)		2024 年 第 3 四半期	2023 年 第 3 四半期	増減 (%)	
	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER
売上収益	39,182	33,787	16	19	13,565	11,492	18	21
- 製品売上	37,576	32,466	16	19	12,947	11,018	18	20
- アライアンス収益	1,498	1,004	49	50	559	377	48	50
- 協業収益	108	317	(66)	(66)	59	97	(39)	(40)
売上原価	(7,482)	(5,960)	26	28	(3,081)	(2,095)	47	48
総利益	31,700	27,827	14	17	10,484	9,397	12	15
流通費用	(412)	(394)	4	7	(145)	(129)	12	15
研究開発費	(8,906)	(7,862)	13	14	(3,115)	(2,584)	21	21
販売費・一般管理費	(14,567)	(13,845)	5	7	(5,143)	(4,800)	7	8
その他営業収入・費用	152	1,233	(88)	(88)	25	70	(65)	(61)
営業利益	7,967	6,959	14	23	2,106	1,954	8	18
純金融費用	(919)	(945)	(3)	(7)	(274)	(291)	(6)	(15)
合併事業および関連会社	(23)	(12)	n/m	97	(4)	(11)	(53)	(54)
税引前利益	7,025	6,002	17	28	1,828	1,652	11	24
税金	(1,484)	(1,000)	48	62	(395)	(274)	44	62
税率	21%	17%			22%	17%		
税引後利益	5,541	5,002	11	21	1,433	1,378	4	17
EPS (1 株あたり利益)	\$3.57	\$3.22	11	21	\$0.92	\$0.89	4	17

Table 10 : 報告ベースの税引前利益と EBITDA の調整

	2024 年 9 カ月通期	2023 年 9 カ月通期	増減 (%)		2024 年 第 3 四半期	2023 年 第 3 四半期	増減 (%)	
	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER
報告ベースの税引前利益	7,025	6,002	17	28	1,828	1,652	11	24
純金融費用	919	945	(3)	(7)	274	291	(6)	(15)
合併事業および関連会社	23	12	n/m	97	4	11	(53)	(54)
減価償却費、無形資産償却費 および減損費用	4,351	4,060	7	7	1,817	1,282	41	41
EBITDA	12,318	11,019	12	17	3,923	3,236	21	27

Table 11 : 報告ベースとコア財務指標の調整 : 2024 年 9 カ月通期 ⁸

2024 年 9 カ月通期	報告ベース	組織改編	無形資産の 償却および 減損	その他	コア	コア 増減 (%)	
	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	実績	CER
総利益	31,700	655	24	4	32,383	15	19
製品売上総利益率	80%				82%	-	-
流通費用	(412)	-	-	-	(412)	4	7
研究開発費	(8,906)	221	38	9	(8,638)	17	18
売上収益に占める割合	23%				22%	-	-
販売費・一般管理費	(14,567)	180	3,343	291	(10,753)	11	13
売上収益に占める割合	37%				27%	+1pp	+1pp
総事業費	(23,885)	401	3,381	300	(19,803)	13	15
その他営業収入・費用	152	(2)	-	(1)	149	(87)	(87)
営業利益	7,967	1,054	3,405	303	12,729	8	13
営業利益率	20%				32%	-2pp	-2pp
純金融費用	(919)	-	-	60	(859)	18	13
税金	(1,484)	(189)	(621)	(67)	(2,361)	15	22
EPS	\$3.57	\$0.56	\$1.80	\$0.19	\$6.12	5	11

サステナビリティ

アストラゼネカは、9 月にニューヨークで開催された Climate Week NYC および第 79 回国連総会に Pam Cheng（グローバルオペレーションズおよび IT 担当エグゼクティブバイスプレジデント兼チーフ・サステナビリティ・オフィサー）と当社の米国経営陣が率いる代表団が出席し、大きな存在感を示しました。政府、報道機関、NGO、および民間部門から 50 を超える参加があったプログラムでは、気候危機、医療の公平性、および保健医療システムの強靱性の相互に関連する問題、ならびにより持続可能で強靱かつ公平な保健医療システムへの貢献という当社のコミットメントに焦点を当てました。

関連するコミュニケーションとして、人や地球の健康を向上させるために製薬会社に取り組んでいる自然への投資内容について世界経済フォーラム（WEF）から発表されたオピニオン記事や、非感染性疾患の負荷に対処するための持続可能な保健医療システム構築に関するフォーリン・ポリシーでの記事があります。

医療へのアクセス

- 2024 年 8 月末までに、当社のフラッグシップである Healthy Heart Africa プログラムで 6,100 万回以上の血圧スクリーニングを実施し、1,210 万人以上の血圧上昇を特定、487 万人以上が高血圧と診断
- 10 月、当社は 11 カ国および疾患領域を代表する社外ステークホルダー 15 名で構成される医療の公平性に関するグローバル諮問委員会（HEAB）の初会合を開催し、公平な医療アウトカムをグローバルで向上させるための当社のアプローチを紹介
- アストラゼネカ会長のミシェル・デマレおよびワクチン・免疫療法領域担当エグゼクティブバイスプレジデントの Iskra Reic は、世界保健機関と共同開催された世界保健サミットの期間中に発行された

「Health: A Political Choice – Building Resilience and Trust」において、保健医療システムの強靱性に関する考えを共有

- 当四半期において、保健医療システムの持続可能性と強靱性を向上するためのパートナーシップ（PHSSR）の取り組みでは、加盟国における持続可能な保健医療の資金調達を支援するうえでの EU 機関の役割について、専門家諮問グループを招集。また、PHSSR は、アストラゼネカと協同したガスタイン欧州保健フォーラムのセッションにおいても、人と地球の健康に向けたケアパスウェイの脱炭素化の重要性について積極的に発言。このセッションでは、EU および各国の統合された公共政策戦略における患者さん中心の早期かつ重点化された介入の必要性が強調
- 9 月、ヤングヘルスプログラム（YHP）を通じ、世界中の若手医療リーダー 24 名が奨学金を得て、カナダ・モントリオールで開催された One Young World Summit に出席。より健康で公平な未来の構築に向けた注力を支援。さらに 8 月、YHP は、気候危機の健康への影響に取り組んでいる世界の若手リーダー 7 名に対し、ニューヨークの Climate Entrepreneurship Academy に参加するための奨学金を授与。当四半期、YHP は Pharma Industry UK Awards で企業の社会的責任プログラムの年間最優秀賞を獲得

環境保全

- 当社は、欧州、日本、および米国を含め、全世界で保有する車両の 50%以上の完全 EV 化を実現し、脱炭素目標「アンビション・ゼロカーボン」の持続性に関する主要なマイルストーンを達成。アストラゼネカは現在、1 万台以上のバッテリー式電気自動車（BEV）を保有しており、オランダ、ギリシャ、およびジョージアでは完全 EV 化を実現
- スウェーデン・セーデルテリエにあるアストラゼネカの製造施設（当社が保有する世界最大の製造施設）では、スコープ 1 および 2 の温室効果ガス（GHG）排出量を 2015 年比で 98%削減し、計画を前倒しして当目標を達成した 6 番目の当社施設に。このマイルストーンにより、ヨーテボリの戦略的 R&D センターを含め、スウェーデンの全拠点において、「アンビション・ゼロカーボン」のスコープ 1 および 2 の目標を達成
- 当社は、CEO のパスカル・ソリオが議長を務める持続可能な市場イニシアティブのヘルスシステムタスクフォースを通じて、ベルリンで開催された世界保健サミットにおける European Network on Climate and Health Education の設立に貢献。このネットワークは、気候変動による健康への影響に対処し持続可能な医療を提供するスキルを持つ医学生 1 万人の養成に取り組む、ヨーロッパ全域の 25 の主要大学をつなぐ
- 当社は 10 月に、2024 Reuters Sustainability Awards で Net Zero: Operations Transformation Award を受賞。これは、「アンビション・ゼロカーボン」の戦略を通じ業務および車両全体で突き詰めて脱炭素を推進する取り組みが高く評価されたもの。また、WEF はグローバル・ライトハウス・ネットワークの一環として、無錫（中国）およびセーデルテリエ（スウェーデン）に所在する当社の先進的な製造施設 2 カ所を第四次産業革命（4IR）ライトハウスとして認定。次世代のオペ

レーショナルエクセレンス、環境の持続可能性、および従業員の育成を推進するために、デジタルや AI 等の先進技術を活用する組織に焦点

- 8 月、当社は My Green Lab と International Institute for Sustainable Laboratories より、業界トップかつ 2023 年を上回る省エネの達成に対して、2024 年の Freezer Challenge Winning Streak Award for Biotech & Pharmaceuticals を受賞。さらに、ヨーテボリの当社の地域 HBS センターは、Top Small Lab Award - Pharmaceutical and Biotech Sector を受賞
- 当社は、ビレーズトリ®/Trixeo エアロスフィア®（一般名：ブデソニド/グリコピロニウム臭化物/ホルモテロールフルマル酸塩水和物 [BGF]、以下、ビレーズトリ）の革新的な次世代噴射剤への移行に関して、最初の規制当局への申請を裏付ける試験を完了。この噴射剤により、現在利用可能な吸入薬で使用されている噴射剤と比較して地球温暖化係数が 99.9%低下。加圧式定量噴霧吸入器による温室効果ガスへの影響を低減することは、患者さんのアウトカム向上に向けた当社のコミットメントとともに、アストラゼネカの「アンビション・ゼロカーボン」戦略における製品関連の重要な要素

倫理および透明性

- 9 月、アストラゼネカは TIME World's Best Companies 2024 に選定され、持続可能性の透明性について製薬会社で 1 位となり、全 1,000 社中で上位 70 社にランクイン
- メキシコで、アストラゼネカは Great Place to Work (GPTW) のランキングで 3 位に。また、当社のグアダハラ・グローバル・イノベーション&テクノロジー・センターが、GPTW Western Region における従業員 500 人超 5,000 人以下の企業で、4 年連続で 1 位に
- アストラゼネカと他の 33 のパートナー組織は、官民連携による VICT3R プロジェクトの設立を発表。最先端の統計手法や人工知能 (AI) 技術を用いて作成したバーチャルコントロール群 (VCG) によって、実験研究で使用する動物数を低減することが本プロジェクトの目的。倫理的な研究活動と環境の持続可能性を推進しながら、医薬品と化学物質の安全性評価を変革することを目指す。

¹ 恒常為替レート (Constant exchange rates, CER)。実績増減と CER 増減の差は、2024 年対 2023 年の期間中の為替変動によるものです。CER 財務指標は、報告ベース業績から為替変動の影響を取り除くため、一般に公正妥当と認められた会計原則 (GAAP) に基づく会計処理によるものではありません。

² コア財務指標は、特定の項目を除くために調整されています。報告ベースとコア財務指標との差異は、主に、無形資産償却費、減損損失、和解費用および構造改革費用によるものです。報告ベース EPS とコア EPS の調整表は、本資料の業績セクションの Table 11 および Table 12 に記載されています。

³ 報告ベースおよびコアの製品売上総利益率の計算では、アライアンス収益および協業収益の影響は除外されています。

⁴ Table 2 において、プラスとマイナスの記号は、議論されている項目の方向性の影響を示します。例えば、研究開発費関連のコメントの隣にある「+」記号は、その項目が前年度に比べて研究開発費を増加させたことを意味します。

⁵ アレクシオン買収後グループレビュー (Post Alexion Acquisition Group Review)。アレクシオンの買収に関連して、アレクシオン買収後グループレビューグループでは、システム、組織構造、およびプロセスの統合、グローバル展開の最適化、ならびにリソース配分と投資の優先順位付けを目的とした包括的レビューを開始しました。レビュー活動は、2026 年末までに実質的に完了する見込みです。

- ⁶ グループが重要で継続的な経済的利益を保有していない資産および事業の処分による収入は、引き続き当社の財務諸表において「その他営業収入（および費用）」に計上されます。
- ⁷ Table 4 の表示内容を更新し、売上収益の各数値内にアライアンス収益と協業収益を含めることにより、医薬品別の売上収益を示します。従来の本表では、医薬品および治療領域別の製品売上を示すとともに、当社のアライアンス収益および協業収益については、それぞれの総額を表の下部に個別の行として表示していました。
- ⁸ 本カテゴリー内の項目として重要性が乏しいため、「アレクシオンの買収」の欄を削除し、本表の表示内容を更新しました。